

資料の見方について

○資料 1 「地域協議の進捗状況等について」

- ・ 7 つの地域ブロックごとの地域協議の進捗状況です。
- ・ 各地域において、統合検討委員会や統合準備委員会に進んだ組合せがあり、統合に合意が得られた組合せが 8 つあります。

○資料 2 「八橋小、寺内小の 1 歳から 12 歳までの年齢ごとの児童数」 (令和 6 年 5 月 1 日現在)

- ・ 表の左側が各小学校の現在の小学 1 年生から 6 年生までの児童数、そして右側が 1 歳から 6 歳までの未就学児の数です。
- ・ 八橋小を例にすると、左側の表の上段は、令和 6 年 5 月 1 日現在、八橋小に在籍している児童数であり、下段は、八橋小の地区内に実際に居住している児童数となります。
- ・ 八橋小には、小学 1 年生 55 名が在籍しておりますが、実際には、八橋小地区内に 57 名の児童がいるため、55 名 / 57 名で、増減率が 0.965 となります。率は毎年変わりますが、右側の未就学児の推計値については、直近の小学校 1 年生の率をかけて算出しています。
- ・ 同じように、寺内小学校の年齢ごとの児童数を算出しています。

○資料 3 「八橋小、寺内小の児童数の将来推計」

- ・ 資料 3 は、資料 2 に記載した 6 年後の 2030 (令和 12) 年度までの児童数の推移と見込みをグラフ化したものです。
- ・ 青い折れ線は、国立社会保障・人口問題研究所 (社人研) の推計を基にしています。
- ・ 赤い折れ線は、資料 2 に記載している 2 校の未就学児の推計を基にしています。
- ・ 緑の折れ線は、2024 (令和 6) 年度までの実績です。

○資料 4 「学校施設の現状と学校規模シミュレーション」

- ・ 資料の上段には、八橋小、寺内小の 2 校の現在の校舎と校地の状況として、校舎や敷地面積のほか、もっとも古い建物の建築年度等を比較できるようにしています。
- ・ 学校の規模については、令和 6 年度の実児童数と資料 2 の未就学児の推計を基に、各校の令和 7 年度から 12 年度までの児童数を推計しております。また、左の表は、統合した場合の合計児童数と学級数の推計です。仮に、令和 7 年度の児童数で想定した場合、2 校全体で 651 人となり、各学年 3 学級から 5 学級、特別支援学級を含めて合計 28 学級程度となります。